

BE THE PLAYER

自分で考え

動く 生み出す

そして社会を変える

企業と地方公共団体とのマッチング会
学校教育ビジョン推進事業

石川県 加賀市

加賀市

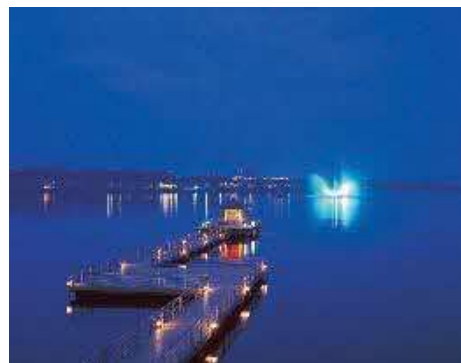
石川県最南端

人口6.3万人／小中23校

加賀温泉郷

片山津温泉／山代温泉／山中温泉





観光／歴史

豊かな食材

伝統工芸

九谷焼／山中漆器



製造業



来月3月16日 北陸新幹線 加賀温泉駅開業



加賀温泉駅

東京から直通

3時間

30分短縮!



 東京から1時間30分



加賀市厳しい現状

<人口減少>

11市8町のうち
5市4町が該当

加賀市

県南（南加賀エリア）で唯一
消滅可能性都市

※2040年に若年女性人口が5割以下に減少する市区町村

2023年度加賀市成長戦略

未来への夢と希望の投資戦略

人への投資

教育

人材育成

「人」にすべてをかける！

今の学校教育の 2つの致命的な課題

課題

1

今・これからの時代に必要な人材が育っていない

これまで

工業化社会



大量生産・大量消費

縦割り

自前主義

新卒一括採用・
年功序列

均質な人材育成

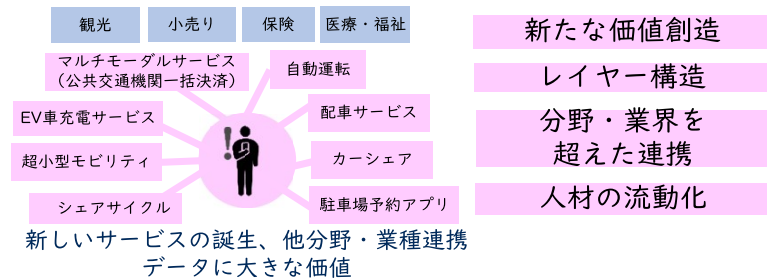
言われたことができる人材

同調圧力－個性の埋没

今・これから

DX時代

Society 5.0



ゼロからイチを生み出す力

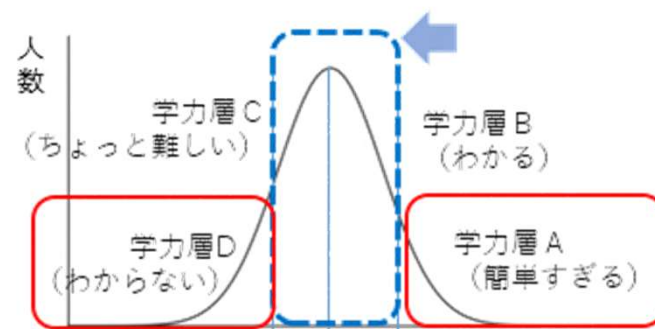
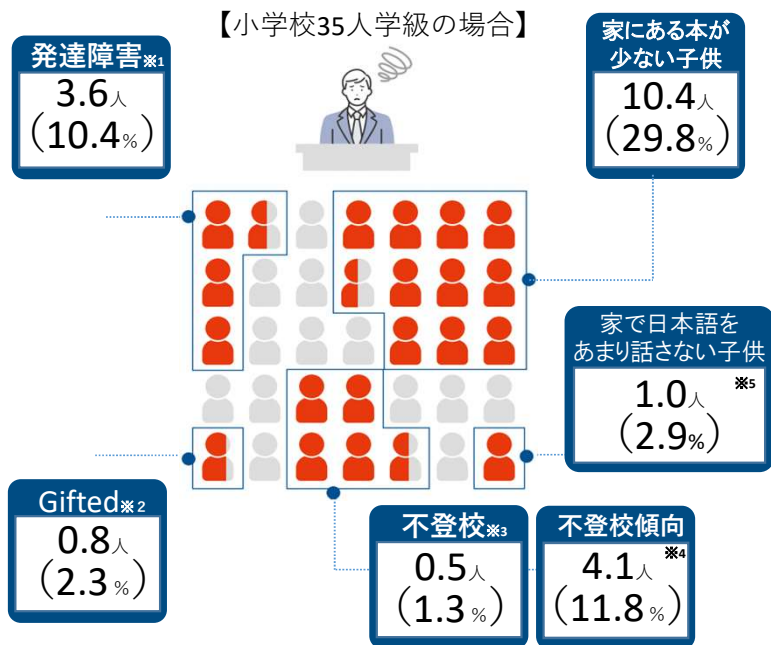
問題発見力／課題解決力

「人と違う」ことが強みになる時代

課題

子どもはみんな「違う」のに、一つのやり方

2



いろいろな子が混ざっている

学力もバラバラ



10人に1.4人は不登校/不登校傾向

BE THE PLAYER

自分で考え
動く 生み出す
そして社会を変える

加賀市 学校教育ビジョン

2023・1 発行 / 全戸配布

加賀市学校教育ビジョン
[ダイジェスト版]
2023 - 2025

加賀市の教育が大きく変わります

子どもの「今」も「未来」も幸せに
well-beingを実現する学びの改革

自分で考え
動く 生み出す
そして
社会を変える

PROJECT 03 未来は自分で創る

協定 # STEAM # プログラミング
デジタルリテラシー

多様な人々と意見を交わし、企業、地域、大学など様々なバックグラウンドを持つ大人たちと一緒に学び、実社会・ホンモノに触れ、探究する。問いを立て、課題解決をする学びを進めます。

**小中一貫型
加賀STEAM教育プログラムの実施**
加賀市の強みであるプログラミングを軸として、小中9年間一貫型のSTEAM教育プログラムを開始します。

1 課題発見 2 講義・探究
3 実践・試行錯誤 4 課題解決

横立中学校のSTEAM学習のまともです。プレゼンテーションの様子はこちら

STEAM教育とは
5つの分野の横文字をとった造語です。単に理数やテクノロジーの学びだけでなく、分野の別にとらわれず、創造性や発想力を組み合わせて、課題解決に挑んでいく探究型の学習です。AIやデジタルの進展を捉えた新しい教育として、注目されています。

PROJECT 01 学びを変える

ICT # 個別最適な学び # 地場的な学び # 空間デザイン # 遠隔協働 # インクルーシブ

教師による一方的な再授業スタイルは、異なる一人ひとりに合う学びを創ることは限界があります。一人一台のパソコンをフル活用して、個々のスピードに合わせて、自分のペースで自分から学ぶ。そして火山の人と対話して、助け合って共に学び合う。教室の空間デザインも工夫し、好奇心と夢中であふれる、もっと自由にクリエイティブな授業へ、「そえる」教育から一人ひとりを「伸ばす」教育へと変えていきます。

今までは…
「みんな一緒に 同じことを 同じ方法で」

これからは…
「自分のペースで自分で学ぶ」
「学び合って、助け合って、共に学ぶ」

PROJECT 02 誰一人取り残さない

不登校 # サードプレイス # 教育支援センター # 発達支援

不登校の子どもの数は年々増加し、10人に1人以上の小学生が「学校に行けない・行きたくない」という状況です。誰一人取り残さず、学びが深くなる不登校支援の新たな仕組みを作ります。また、増加している発達支援が必要な子どもにとって、よりよい教育環境・支援につなげるため、新たに大学や専門機関との連携を進めます。

**教育総合支援センター
移転・リニューアル**
教育総合支援センターを旧三本小学校に移転し、地域の人たちと一緒に学校になじめない子どもたちが安心して過ごせる場所を作ります。また、不登校支援の拠点として機能強化し、全面リニューアルします。

**学校内サポート
ルームの設置**
「授業に行くのがしんどい」、そう思ったとき、教室以外で過ごせる場所、学べる場所を学校内に設置し、早期の支援につなげます。

PROJECT 04 地域と一緒に

コミュニティスクール # 部活動地域移行
学校の連絡デジタル化 # 広域・連携

加賀市の強みである地域の力を生かして、地域と一緒に子どもを育てる環境づくりを進めます。

コミュニティスクールへ
学校と保護者や地域がともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に学校や子どもを支えていく仕組みであるコミュニティスクールに全校移行します。

中学校部活動の地域移行
2023～2025年度を「改革推進期間」と位置づけ、早期に地域移行の実現を目指すという国の方針のもと、加賀市でも土日の部活動から段階的に地域移行を進め、地域と一緒に子どもの活動の場を作っていきます。

2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
部活動地域移行	部活動地域移行	部活動地域移行	部活動地域移行

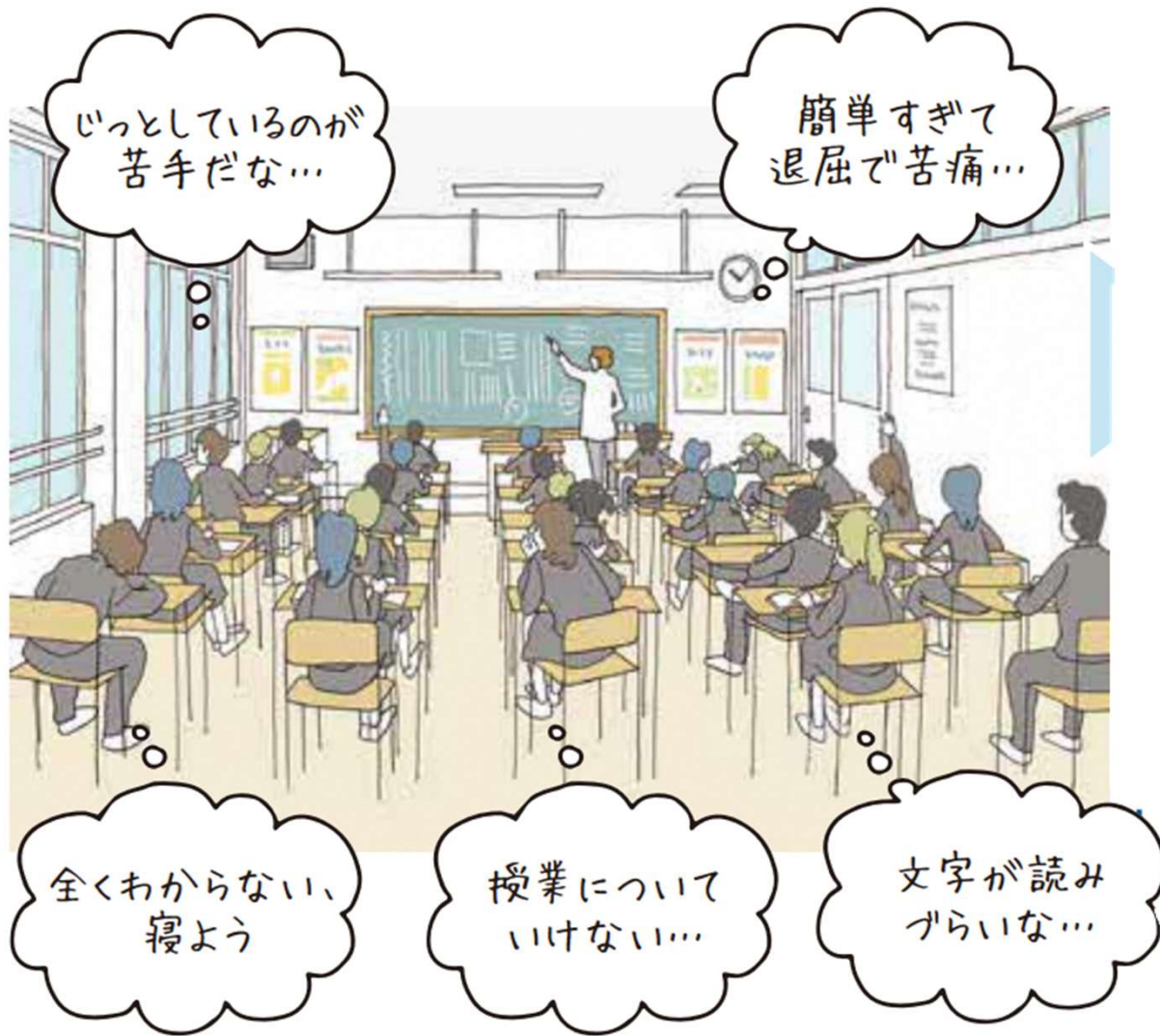
学校・保護者間の連絡手段のデジタル化
学校からの情報発信やアンケートの実施、家庭からの欠席連絡などを迅速・確実に行うため、アプリを導入し、双方の利便性を高めます。

保護者・市民向けの教育講演会・広報
新しい教育への理解を進めるため、講演会の実施や SNS 等を通じた情報発信、教育改革の進捗の広報も進めます。

市民の方々からも応援



**特に企業の皆様に
応援／ご協力いただきたい
プロジェクトは3つ**



学びを変える プロジェクト

教師主導の
旧来型の一斉授業から
脱却をします

1

学びを変える プロジェクト

子どもが主役の授業 に絶対に変わる

「自分のペースで自分で学ぶ」
「学び合って、助け合って、共に学ぶ」



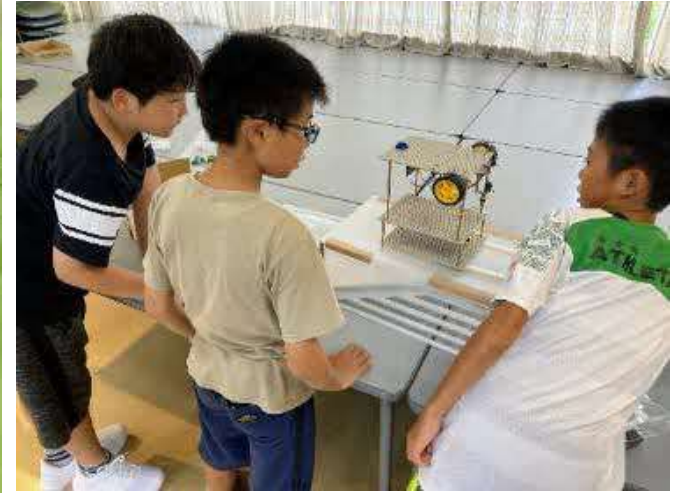


2

誰一人取り残さない

プロジェクト

不登校の子どもが通う場所から
“学校っぽさ”をなくしたい！



未来は自分で創る プロジェクト

加賀STEAMプログラムで テクノロジーの力で課題解決する

3



授業が変わってきています



取材／視察 注目されています



ヒント基に自分で計画、先生は状況を見取る役目

加賀市教育が新しい学校教育ビジョンを発表し、従来の画一的な教育から一人一人の可能性を伸ばす教育へと転換する取り組みがスタートした。学びの改革はなぜ必要でどんな狙いがあるのか、文部科学省出身の教育長に聞いた。（竹内 幸子・小笠原 希子）

一新ビジョンでは、一斉授業から個別最適な学び、協働的な学びへの転換を打ち出している

今の教育の一番の問題は、小学校のころから決まっている。（文科省からの転換策から）子供は「自分で」学ぶ子どもにして、学校に行かなくてもいいように、小学校からスタートして、中学校からスタートして、高校からスタートして、大学からスタートして、社会からスタートして、



一人ひとりの可能性を
最大限伸ばす教育改革



education特集

加賀市教育長・島谷千春、脱一斉型で「子ども主体の授業」じわじわ増やす仕掛け 「Be the Player」掲げる教育ビジョンの本意

石川県加賀市教育委員会が2023年1月に発表し、スローガンとして「Be the Player」を掲げた学校教育ビジョンが話題を呼んでいる。「自分で考え 動く 生み出す そして社会を変える」子どもたちの育成に向け、従来の画一的な教育から一人ひとりの可能性を伸ばす教育へと転換する取り組みをスタートさせた。なぜ今、教育を変えるのか、どのように変えていくのか。文部科学省出身で22年10月より加賀市教育委員会教育長に就任した島谷千春氏、文部科学省広報戦略アドバイザーなどを経て23年4月より加賀市教育委員会事務局政務官に就任した寺西隆行氏に聞いた。

2023/06/10

東洋経済education X ICT編集部





でも問題は**空間**

教室狭い☹️

机も狭い☹️

動きづらい☹️



もっとのびのび自由に動いて学んでほしい

なんとか1校 パソコンルーム改修



Before



After

加賀市23校の 教室の空間デザイン・リノベ

もっともっと進めたいです

企業様のメリット

短期的

広報します

部屋に**企業ロゴ**をつけます

取材受けるたびに**宣伝**します

将来の顧客・将来の従業員

子どもの頃に出会った企業のごことは、子どもはいつまでも覚えています

長期的

BE THE PLAYER

自分で考え

動く 生み出す

そして社会を変える

そろえる教育から 伸ばす教育へ
子どもの「今」も「未来」も幸せにする

加賀市の本気の学びの改革

是非一緒にやりませんか？

担当者連絡先

加賀市

加賀市教育委員会

教育庶務課（口出・小林）

0761-72-7975

gakukyou@city.kaga.lg.jp